

令和5年度

第2回苫小牧市特別職議員報酬等審議会会議録

日時：令和6年2月7日（水）午後1時30分

場所：苫小牧市役所9階第2委員会室

苫小牧市特別職議員報酬等審議会議事録

日時：令和6年2月7日（水） 13：25～14：10

場所：苫小牧市役所9階第2委員会室

○開会

定刻より若干早いですが、出席予定者が揃ったため開会する。厚生主幹が進行役となり、審議会次第のとおり進行する。

1 審議

第1回に引き続き、諮問事項である市長等の給料額及び議会の議員の議員報酬額について審議し、それぞれについて答申する額を決定した。

【主な発言等】

| | |
|-----|---|
| 会長 | <p>前回に引き続き、協力をお願いする。早速、審議を進める。</p> <p>委員の皆様には配布された参考資料の内容について事務局から説明をお願いする。</p> |
| 事務局 | <p>具体的な額について、各委員の検討結果を集約し、その平均額が市長100万円（2万円増）、副市長82万円（2万円増）、教育長70万円（2万円増）、常勤監査委員65万円（1万5千円増）、議長57万円（5万円増）、副議長51万円（3万円増）、議員47万円（3万円増）であったことなどを示した資料が配布され、事務局から説明がなされた。</p> |
| 会長 | <p>ただいま事務局から、前回の審議会開催後、この間、具体的な答申額に関する委員の皆様からの意見を集約した結果をもとに作成された参考資料について説明があったが、意見・質問を伺ってまいりたい。</p> |
| 委員 | <p>概ね私自身も想定していた金額なので、良いのではないかと。ただ、市長だけは、多忙さを考慮すると5千円から1万円くらい上げて良いのではないかと。</p> |
| 委員 | <p>委員の意見を集約した結果ということだが、議長の改定率は、いささか高いのではないかと。議員も然りだが、30年間改定されていないことを踏まえても、議員の中から選出される議長や副議長が高いことは理解できない。私自身、様々な会議の議長をやるが、手当をもらうことはない。</p> |
| 会長 | <p>議長が高い理由を説明願う。</p> |
| 事務局 | <p>議長と副議長は、通常の会議、定例会の他に地域に出してお話ししたり、各地で開催される会議等に参加するなど、ほとんど毎日公務が入っているような状況となっており、他の議員より公務が多いということ。</p> |
| 委員 | <p>色々考えたが、市長等については良いと思う。議長は高いと思ったが、議長職は非常に大変であることも承知している。苫小牧は道内の市で7番目の報酬なので、帯広とか釧路などの同規模自治体に近づいて行った方が良いということで、私としてはよろしいと思う。</p> |

- 委員 委員の皆さんが真剣に考えて出した金額であり、今後の更なる物価上昇、道内他都市との比較においても、この程度の引上げは当然ではないかと思っている。
- 委員 現状の議員報酬は安いと思ったが、手当を含めた年収で見ると、委員の皆さんの意見を集約した金額が妥当かなというのはある。
ただ、少し増えても所得税等の控除を踏まえると、手取りはそんなにいけないと思う。
- 委員 改定率から見ていくと議長が突出しているので、副議長、議員と同程度の引上げ率でよろしいのではないか。
- 会長 同程度というと、マイナス1万円くらいか。
- 委員 1万円か2万円くらいの引下げになるかなと。
- 会長 全体のまとめ役であるが、30年改定していないことを考慮し、財政的な観点を踏まえても、この程度引き上げることは妥当。一般職の改定率分を上げる前提プラス同等の市の規模の月給、報酬を比較すると苫小牧は低いこともあり、英気をつける意味合いでも良いのではないか。議長については、特別なのではないかという認識を今は持っている。
一部、議長を少し下げるとか市長を上げるといってお話もあったが、どうか。
- 委員 物価高等などの社会的な状況に照らして考える必要がある。
立場上、議長が議会を代表して出てくることから多忙であり、妥当と思う。
- 会長 毎年改定ともならないかと思うので、ある程度何年か先まで通じるようなものとしたいと考えているが、いかがか。
議長のところが、妥当という意見と少し引下げてはという意見があり、一本化していかないといけない。
議長の公務に対する追加説明があればお願いしたい。

| | |
|-----|--|
| 事務局 | 直近の例で行くと1月は、会議や打ち合わせ等により、ほぼ毎日市役所に来ていた。地域に呼ばれることや議会の代表として色々な意見を求められる場面も多くあり、他の議員に比べてかなり負担がある。 |
| 事務局 | 参考までに、5万円増のところを3万円増とした場合は、5.7%の上昇、4万円増とした場合は、7.6%の上昇となる。 |
| 会長 | 同規模の都市の議員と副議長、議長の差はいかがか。 |
| 事務局 | 議長と副議長の開きについて、帯広市が7万円、釧路市が6万円、議員と議長の開きについては、帯広市、釧路市ともに11万円である。 |
| 会長 | 差額的な見方をすれば、改定によりその差が拡大することになるが、そんなにおかしな話ではないという理解でよろしいか。 それを踏まえて意見はいかがか。 |
| 委員 | 今の説明によると妥当な線かとは思いますが、改定率を見ると上がりすぎに見えるので、1万でも下げたら良いと思う。 |
| 委員 | 賛成。 |
| 会長 | 1万円下げるといふ提案に対しては、いかがか。 |
| 委員 | 他の自治体と比べた場合、どうしてもこのぐらいの金額なのかと思うが、改定率が出ると議長が突出している。 改定率が公表されたときに高いと感じる人はいると思うので、そこを考慮するかどうか。 |
| 委員 | 議長となると名誉職でもあると思う。海外における名誉職は、給料なしでもやるという国もたくさんあることを踏まえると、この改定率は高いので1万円下げるくらいはよろしいのではないか。 |
| 委員 | 議会事務局の見解は、議長の報酬に関して他の自治体と比較して低いという認識だったか。 |

- 事務局 人口規模で言うと、帯広、釧路は意識して見るところである。他から比べると全体的に低いという印象はある。
- 会長 現状からの変化ということ踏まえると、ある程度納得性があることは必要と感じる。
- 委員 英米では、小さい自治体において議員は無給、つまりボランティアである。忙しいから手当をとというのは民間企業のサラリーマンなら良いが、特殊な立場で名誉職であるから、なりたい人はたくさんいる訳で、多忙な生活を強いられている訳ではない。高い身分の人ほどボランティアをやらなくてはならないし、戦地においては真っ先に前線に出なくては行けないという考え方がある。
- それらを踏まえると、1万円くらいは削減していただきたい。
- 会長 全体的にまとまってきたが、これだけは聞いておきたいことなど、いかがか。
- 委員 議員報酬とは別な問題だが、平成5年から徐々に議員定数が減り、それに伴い財政負担も減ってきている訳だが、更により効果のある議員定数をお願いしたい。
- 会長 給料、報酬を上げていくためには原資が必要となるので、色々な改革を引き続き行い続けなければならないという話ではないかと理解する。
- 事務局 定数については、議会改革検討会の項目に上がっており、検討している最中である。年内に結論付ける形になっている。
- 委員 付帯意見として、定数のことも触れていただければありがたい。
- 会長 たくさん意見に感謝する。非常に良い議論ができたと思う。意見をまとめると、市長は100万円、副市長は82万円、教育長は70万円、常勤監査委員は65万円、議長は1万円下げて56万円、副議長は51万円、議員は47万円という方向でよろしいか。

(異議なしの声)

それでは、本審議会の答申書については、先ほどの意見もしっかり整理して後日、委員の皆様には内容を確認いただいた上で市長に提出したいと思うが、よろしいか。

(異議なしの声)

今回は、約30年ぶりとなる議員報酬等の引上げを答申する歴史に残る審議会となったが、委員の皆様には、事務局からの案内以降、それぞれ事前にしっかり検討していただき、市民の立場で忌憚のない意見を述べていただいた。

皆様が集まって開催した会議は本日を含め2回であったが、いずれも円滑な進行に御理解、御協力をいただき深く感謝申し上げます。

それでは、以上をもって第2回の審議会を閉会する。

大変お疲れさまでした。ありがとうございました。